

# 八王子水のまちニュース

第21号 令和5年2月

八王子市水循環部 042-620-7291 (直通)  
水環境整備課 042-626-3019 (FAX)

## ミズカツイベントを開催しました

本市では、川や湧水地などの水辺をまちづくりに活用するため、国や都と連携した水辺の親水空間づくりを進めています。今年度は、市民や事業者が能動的・継続的に水辺の活用を進めるため、水辺を活用した実証実験のイベントを行いました。

○概要：水辺での“マルシェ”で、キッチンカーや、クラフトショップ、ワークショップなど多彩なお店が集まり、水辺の魅力とマルシェを共に体感できる企画を実施しました。



9/24 オンガタマルシェ(小田野中央公園)



11/5・6 水辺遊び(多賀公園)



11/5 FARMART vol.10 RIVERLIVER!(原宿児童遊園)



“ミズカツ”ってなに？

私たちの身近にあるたくさんの水辺とその可能性を活かし、市民と市役所が手を取り合って、これからの水辺活用に取り組んでいく実験プロジェクトです。

## 水辺の話題

### 水路の適正管理にご協力をお願いします！

水路は地上に降った雨の受け皿となり、安全に雨水を流したり、農業用水を運んだり、様々な役割を担っています。市内の水路については「八王子市公共物管理条例」に基づき、主に水環境整備課にて管理しています。水路の適切な機能を維持するため、下記の点にご注意をお願いします。

#### 水路に物を置かないようにしましょう

水路の管理の支障となる他、水路構造物破損の原因となります。水路への橋の設置等については、「水路占用許可申請」をご提出いただくことにより可能となる場合があります。詳しくは下記「水路占用について」をご覧ください。



#### ゴミのポイ捨て、油・廃液を流さないようにしましょう

農業用水として使用されている水路もあります。

#### 大雨時には、水路に近づかないようにしましょう

豪雨により急激に水かさが増すおそれもあり、非常に危険です。



#### 雪を水路に捨てないようにしましょう

雪がつもった際は、水路に雪を捨てないでください。雪が水路の流れをせき止め、水路があふれる原因となります。



#### 水路占用について

生活や事業のためやむを得ない場合に限り、水路管理に支障の少ない最小限度の占用物の設置を認めています。

例)橋(通路)、上下水道管、水路を横断する架線、  
工事用足場 等

水路占用の詳細については市ホームページでご確認いただくか、下記連絡先までご連絡ください。

水循環部水環境整備課  
維持管理担当  
TEL：042-620-7291

水路に関する  
各種手続き  
(市 HP)



#### 節水のお願い



水資源を大切に！  
節水への御協力をお願いします。

## 健全な水循環に向けて

### 地下水の保全と浸水対策に取り組みましょう

地下水は、湧水や河川の水源や生活や産業での利用など私たちの暮らしに重要な役割を果たしています。しかし近年では都市化により、雨水を浸透させていた農地や雑木林が少なくなったことによる地下水位や河川水量の低下や枯渇、また集中豪雨の増加による浸水被害の発生が心配されるようになりました。

そこで本市ではこれらの状況に備えるため、雨水浸透・貯留施設の設置を促進しています。施設の設置にあたっては設置費用の一部を補助する制度もございますので、ぜひ設置をご検討ください。



浸透施設の人孔



雨水貯留槽

各補助事業については  
コチラ



浸透施設設置  
補助事業

貯留槽設置  
補助事業



## イベント情報

### 春の湧水散策

#### 中野山王子安神社～明神町の湧水を巡る

恒例となった八王子市内の湧水をめぐる「湧水散策」、第14回目の今回は子安神社（中野山王）を出発し、喜福寺、市守大鳥神社をめぐり令和4年10月に開業した東京たま未来メッセ（明神町）まで歩きます。ご興味のある方のご参加をお待ちしています。**なお、参加には事前の申し込み（抽選）が必要です。**

日時：令和5年(2023年)3月11日(土)

午前9時～午後0時半 荒天中止

集合：子安神社（中野山王 2-23-1）

問い合わせ：水循環部水環境整備課

水辺活用・庶務担当

TEL：042-620-7291

詳細は「広報はちおうじ」2月1日号をご確認ください。



昨年の様子：真覚寺（散田町5丁目）

## 「第11回あさかわ写真コンクール」結果発表

第11回を迎えた「あさかわ写真コンクール」の入選作品が決定しました。354作品の応募があり、30作品が入選しました。11月5日の表彰式では、日野市・八王子市の両市長と協賛企業より入選者一人ひとりに賞状と副賞が手渡されました。



最優秀賞（一般の部）  
『キラリ』 渡邊 敦子さん



最優秀賞（中学生以下の部）  
『2色の空』 佐々木 結衣さん

表彰式の様子、入選作品は  
こちらをご覧ください。



## 水辺の生きもの

～ウナギ～ ウナギ目ウナギ科ウナギ属

サケは川で産卵し海で育ちますが、ウナギは川や湖（淡水域）で成長し海で産卵する降河回遊魚（こうかかいゆうぎょ）です。ニホンウナギも日本列島をはじめとする東アジアの河川などに分布し、メスは数年、オスは10年程度過ごした淡水域から産卵期になると海へ移動し熱帯地域の深海(3000m～4000m)で産卵します。生態が不明なこともある中、これまで生息地とされていなかった北海道で、絶滅が心配されているニホンウナギの稚魚と幼魚が2020年に発見されました。気候変動などによる新たな生息域となった可能性がありつつも生態解明と合わせて保全の研究も進められていくことでしょう。浅川にもニホンウナギが生息しているそうですよ、捕獲希望の方は多摩川漁業協同組合 電話番号 042-361-3542 へお問い合わせください。



## ～編集だより～

「土用の丑の日はうなぎ」と言われるのは、江戸の蘭学者「平賀源内」がうなぎ屋から「夏のやせたらうなぎが売れない」と相談をうけ、「夏の土用の丑の日」にかけた商売をすすめたところ見事に大成功したことがきっかけだそうです。もともとうなぎの旬は冬眠に向け栄養を蓄えている10～12月頃なのだそうです。まあ、いつ食べてもうなぎはおいしいですけどネ。